

# がんテーマに最新情報

## 磐田で市民講座 予防と治療 医師が解説

日本消化器病学会東海支部は22日、市民公開講座「その時あわてなためにー学んでおこうーおなかの病気の最新情報」を磐田市岩井のホテルで開いた。

同市立総合病院と、浜松医科大学大付属病院(浜松市東区)の医師らが講演した。



日本消化器病学会東海支部が開いた市民公開講座  
＝磐田市岩井

同大の竹内裕也教授は、食道がんの予防と治療をテーマに登壇した。食道がんの症状や、患者の特徴を紹介しながら、進行状況を解説した。

「飲酒して顔が赤くなる人(フラッシュヤー)は食道がんを患いやすい」と述べた上で、「予防には禁煙と節酒が大事。症状がなくても、年1回は内視鏡検査を受けて」と呼び掛けた。

大腸がんや肝臓がんをテーマにした講演も開かれ、登壇者は来場者の質疑にも応じた。  
(磐田支局・駒木千尋)